

施策・事務事業マネジメントシート【令和7年度】

【施策と関連するSDGsの目標（ゴール）】



1 施策の基本情報(Plan)

施策名		16 平和施策・国際交流の推進
目的	対象	市民
	意図	平和の尊さを理解し、後世に語り継いでいく 多様な文化が尊重される、多文化共生を推進する
施策の方向		市民一人一人が、国際交流を通じた相互の理解を深める中で、多様な文化が尊重され、平和に暮らすことができる共生のまちづくりを進めます。

2-1 施策全体の考察①（施策の目的、方向に対する考察）

<p>平和派遣事業については、中学生をピースメッセンジャーとして広島・長崎に派遣するとともに、FC東京と民間事業者との連携の下、小学生をピースメッセンジャージュニアとして大阪・広島に派遣し、実際の被爆地等の様子に触れ、戦争の悲惨さや平和の尊さを肌で学ぶ機会としたほか、その学びや平和への想いを広く市民に発信し、施策の成果向上に向けて取り組んだ。また、これまで任命した中学生のピースメッセンジャーが継続的に平和活動に取り組む場として、子どもたちの発意により「ちょうふピース部」が活動を開始された。</p> <p>こうした取組は、それぞれのピースメッセンジャーが、学校における壁新聞の作成・掲示や、全校生徒へのスピーチを行うなどの自主的な活動につなげており、同世代をはじめとする多くの市民に平和の尊さを伝える機会を創出しているという点において一定の成果を得ている。</p> <p>引き続き、子どもたちの被爆地等への派遣を継続的に実施し、平和の尊さを学ぶ機会を創出するとともに、「ちょうふピース部」の活動支援や活躍の機会づくりを通して、平和の尊さを次世代へ継承する取組を推進する。</p> <p>国際交流事業においては、これまで調布市国際交流協会が実施していた事業を調布市文化・コミュニティ振興財団に継承し、円滑な運営に向けた各種調整を行った。また、「国際理解講座2024」を開催し、多くの方に他国の文化に関心を持っていただく機会とした。継承によって財団のノウハウや専門性を生かした効果的な組織運営が図られ、事業の広報に全戸配布される財団報を加えるなど文化事業と連動させながら、国際交流の更なる推進に取り組む。</p> <p>引き続き、外国人が暮らしやすい環境づくりに向けて、日本語学習支援や各種相談支援等に取り組むとともに、国際交流・多文化共生の取組のより一層の充実を図る。</p>

2-2 施策全体の考察②（まちづくり指標の推移／考察）

まちづくり指標	単位	基準値 (基準年度)	実績値		目標値 (目標年度)	指標の推移 (※)	考察
			(令和5年度)	(令和6年度)			
身近な人と戦争や平和について話し合ったり、戦争中の話を聞いたりしたことがある市民の割合	%	76.5 令和4年度	67.2	61.4	90.0 令和8年度	▼	・戦争体験者が年々少なくなっている中、平和祈念事業におけるFC東京との連携やピースメッセンジャーやちょうふピース部の活動など、より多くの市民に関心を持っていただけるよう効果的な情報発信に取り組む。
国際交流・多文化共生事業の実施数	件	21 令和3年度	29	31	26 令和8年度	◎	・令和6年4月の国際交流協会から、調布市文化・コミュニティ振興財団に新設した国際交流センターに事業が継承された。財団のノウハウや専門性を生かした効果的な組織運営のもと、文化事業と連動させながら、国際交流の更なる推進に取り組む。
国際交流協会会員数	人	454 令和3年度	511	526	700 令和8年度	○	・国際交流センターを通じ、会員はもとより、非会員を含めた国際交流の更なる推進に取り組む。

※ ◎：目標達成 ○：目標値を未達成（前年度より向上した） ▼：目標値を未達成（前年度より低下した） ⇒：目標値を未達成（前年度と同じ又は前年度数値未把握） -：数値未把握（調査未実施など）

3 施策を構成する基本計画事業等の取組実績／今後の方向

■16-1 平和社会の推進

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
55	平和祈念事業の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> 計画遅れ	・ピース・レターちょうふ発行 ・調布市平和展開催 ・被爆地への派遣事業の実施（長崎） ・平和首長会議・日本非核宣言自治体協議会との連携 ・派遣後のピースメッセンジャーの活躍の場づくり ・平和都市宣言パネルの更新（西部、調布ヶ丘、富士見、下石原、染地の各地域福祉センター） ・ちょうふピース部の活動支援	<input type="checkbox"/> 現状継続 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	・ピース・レターちょうふの発行 ・調布市平和展の開催 ・被爆地等への派遣事業の実施 ・平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワーク ・派遣後のピースメッセンジャーの活躍の場づくり ・ちょうふピース部沖繩等派遣 ・（仮）平和デジタルアーカイブ化の実施 ・平和都市宣言パネルの更新

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)
①図書館において、生涯学習団体との共催で平和祈念読書会を2回実施したほか、7月～9月に「核兵器のない世界をめざして～子どもたちに平和な未来を～」をテーマに関連図書の展示を行った。	①図書館において今後も平和祈念事業を実施

■16-2 国際交流の推進

No	基本計画事業名	令和6年度取組実績(Check)	令和6年度の主要な取組説明(Do)	今後の方向	今後の取組の方向(Action)
56	国際交流の推進	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 計画前倒し <input type="checkbox"/> 計画遅れ	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流の推進 外国人支援の推進 (1) 外国人専門家相談会の実施 (2) 「やさしい日本語」活用促進 	<input checked="" type="checkbox"/> 現状継続 <input type="checkbox"/> 有効性改善 <input type="checkbox"/> 効率性改善 <input type="checkbox"/> 財政面改善 <input type="checkbox"/> 参加と協働改善	<ul style="list-style-type: none"> 国際交流の推進 外国人支援の推進 (1) 外国人専門家相談会の実施 (2) 「やさしい日本語」活用促進

基本計画事業以外の主要な取組実績(Do)	今後の取組の方向(Action)

4 施策の推進、成果向上の視点（4つの視点）を踏まえた令和6年度の取組実績及び令和7年度以降の具体的な取組

デジタル技術の活用	共創のまちづくり
<ul style="list-style-type: none"> 平和や国際交流に関する資料の保存や展示機会の充実の観点から、資料のデジタル技術を活用した保存や、映像配信等のデジタル技術を活用した事業展開について検討する。【令和7年度以降】 権利保護と利用の円滑化を踏まえた事業を推進する。【令和6年度・7年度以降】 	<ul style="list-style-type: none"> 多角的な発信力を持つFC東京等との連携による事業を推進し、より広く市民が戦争・平和について関心を持ち、取組に参加する機会を提供することができるよう検討する。【令和6年度・7年度以降】 水木プロダクションとの連携により、名誉市民水木しげる氏の遺した作品を通じて、戦争の悲惨さや平和の尊さを発信する。【令和6年度・7年度以降】
脱炭素社会の実現	フェーズフリー
<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化対策は全人類共通の喫緊の課題であることから、国籍等に関わらず、地域における脱炭素社会の実現への理解の醸成に向けて検討する。【令和6年度・7年度以降】 	<ul style="list-style-type: none"> 国籍等に関わらず、相互理解を通じて、災害時の避難所運営等における様々なフェーズフリーの考えにつながるよう施策を推進する。【令和6年度・7年度以降】 多文化共生を推進する観点から、平時の施策の推進がフェーズフリーへとつながる考えについて、理解の醸成に向けた取組を検討する。【令和6年度・7年度以降】

5 後期基本計画期間（令和9年度～令和12年度）における施策の方向整理に向けた検討

<ul style="list-style-type: none"> 平和の尊さを次世代へ着実に継承していくため、次代を担う子ども・若者の平和派遣事業をはじめ、平和や国際交流に関する資料の保存や展示機会の充実の観点からデジタルアーカイブ事業や各種平和祈念事業を通じて、平和文化の一層の振興や国際交流・多文化共生社会の推進につなげていく。 引き続き、「中学生ピースメッセンジャー」、FC東京及び事業に賛同いただいた民間事業者との連携により実施している「小学生ピースメッセンジャージュニア」、これまで任命した中学生のピースメッセンジャーによる継続的な平和活動の場となる「ちょうふピース部」の活動支援に取り組む。 令和6年度から調布市国際交流協会の事業が調布市文化・コミュニティ振興財団に継承されたことを契機とした、国際交流・多文化共生の取組のより一層の充実を図る。
